Japanese Journal of Applied Psychology
1998, No. 24, 65-72

日本応用心理学会常任運営委員会議事録

1997年度第4回（1997年10月）

日　時：1997年10月17日（金）18：10～20：00
場　所：駒沢大学　大学会館301
出席者：田中（昌）・大久保・大塚・岡村・小野・高橋・中村・長谷川・馬場・林・福原・正田・村井
事務局（荻野・神田・岩田・藤瀬）
（鈴木　学会史編集関連）

報告事項：

1．第64回大会について（中村大会委員）
参加者293名，大会費納入者232名，発表件数118件であった。

2．機関紙編集委員会より（荻野）
編集委員長より以下の報告があったことが伝達された。
1）23号を12月に出版の見通しである。
2）現在査読中の論文は原著3件，資料2件である。

3．認定「応用心理士」事務局より（岡村）
第64回大会以降の認定申し込み状況の報告がなされた。

4．学会史編纂委員会より（村井，鈴木）
目次を設定し執筆作業に入りたい。
第1部，学会制度の変遷，第2部，日本応用心理学会をめぐってとし，座談会とエッセイを載せることを考えている。
資料入手について，協力をお願いしたい。

5．公開シンポジウムについて（馬場）
11月15日に開催する。

6．心理学諸学会間連絡会報告（高橋）
9月3日に開催された。サイコロジスト36号発行の件および連絡会の存続意義について議論がなされた。

7．心理学界協議会報告（高橋）
8月31日に開催された。
心理学界協議会の中にワーキンググループを作ることになった。ワーキンググループは「資格」，「学会のあり方」，「カリキュラム」を検討する委員会とし，各学会から最低1名（大規模学会3名，中規模学会2名，小規模学会1名）を出すこととなった。
本会からは「学会のあり方」に事務局長が参加することにした。

8．名誉会員の辞退について（荻野）
総会で推薦された西岡昭氏から辞退の申し出があった。

9．名誉会員のご逝去について（荻野）
結城錦一先生が9月30日に亡くなられた。

審議事項：

1．第65回大会の日程について（田中昌人大会準備委員長）
1998年9月5，6日（土，日）とすることが提案され，承認された。

2．学生会員入会手続きについて（荻野）
記入事項および書式が提案され，一部の修正を加えて承認された。また，正会員の申込書についても，これまでの紹介者を推薦者とする等，若干の変更を行うことを決定した。

3．機関紙年間購読料について（荻野）
年間2回の発行となったので年間購読料を3,000円とすることが承認された。

4．新入会員審査
7名の入会が承認された。
専門学校卒業者について次のことが確認された。高卒で，心理・福祉系の専門学校を卒業した場合は，心理・福祉領域の職に就き，学歴と合わせて4年を経過していれば基準を満たすものとする。

1997年度第5回（1997年11月）

日　時：1997年11月15日（土）17：15～19：40
場　所：日本大学経済学部本館
出席者：稲毛・大塚・大村・岡村・垣本・神作・越河・斎藤・馬場・林・福原
事務局（荻野・神田・岩田・藤瀬）
（鈴木　学会史関連）

報告事項：

1．第65回大会について（荻野）
田中会長からの「来年度の大会に特別な企画の

要望，意見があれば出していただきたい」という連絡があった。

大会委員長の特別講演を行うことを提案することとなった。

2．機関紙編集委員会より（垣本）

12月発行予定の機関誌発行は1月となる。原著4編，資料2編を掲載する予定。

現在査読について編集委員会で検討している論文が2編，ほかに事務局から2編の投稿論文を受け取っている。

3．認定「応用心理士」事務局より（岡村）

手引き等の印刷が出来上がったので会員に配布する予定である。

認定委員会で認定基準を改めて検討することとなった。

神作委員より，人間工学会で「人間工学士」を出すことになったが，応用心理学会や認定「応用心理士」について触れられていないという情報がもたらされた。

4．学会史編集委員会より（鈴木）

第2部に載せる座談会を12月20日に大村委員の司会で行う予定である。また，第2部に掲載予定のエッセイを常任運営委員にも依頼する予定である。

公開シンポジウムについても掲載することになったが，情報が不十分であるので一層の情報をお願いしたい。

5．名誉会員ご逝去について（荻野）

応用教育研究所所長平沼良先生が10月15日に死去された。

6．その他（荻野）

入会承認後長期間にわたり会費未納の2名に意志確認ための手紙を出し，1名は入会の意志のないことを確認，他の1名は返答がないので2名の承認を無効とした。

審議事項：

1．入会審査方法について（荻野）

会則内規に基づいて判定を行うために，従来の方法を改め，判定に必要な事項を記載した一覧表による申請者リストを作成し，入会審査を行う方法にすることが提案され，承認された。

2．新入会員審査

前回保留の12名のうち9名は入会を承認，3名については保留（内2名は卒業年を確認の上事務局の判断で承認の方向）した。

今回の入会申し込み者5名については，3人を承認し，記載事項不備の2名については保留となった。

3．日本心理学会第62回大会準備委員会からの依頼について（荻野）

同大会で行うシンポジウムの企画（関連学会と共同企画が望ましい）依頼があったが，どのように取り扱うか。大村委員が性格心理学会会長であるので，同会との共同企画を検討する。応心側としては，岡村委員と事務局が中心となって企画を立てることとなった。

4．日本ファジー学会からのシンポジウムの協賛依頼について（荻野）

協賛を承認した。

5．その他

1）入会申し込み書の新しい書式について（荻野）

前回の申し合わせに基づいて行われた修正を承認。さらに，林委員から，入会申込者の履歴等を正確に把握するためのスペースを確保のため，はがきではなく書面にした方がよいとの提案がなされ承認された。また，大塚委員から「身分」欄を「職名」にすることが提案され承認された。

1997年度第6回（1998年1月）

日　時：1998年1月23日（金）18：00～20：40

場　所：富士短期大学　高田記念図書館3階第三会議室

出席者：稲毛・内海・大塚・大久保・岡村・小野・垣本・斎藤・高島・高橋・中村・馬場・平野・福原・村井

事務局（荻野・神田・岩田）

（鈴木　学会史関連）

報告事項：

1．機関紙編集委員会より（垣本）

23号の初校が終了。原著4編，資料3編で2月に刊行予定である。

24号掲載分については，現在までに4編の投稿があった。

原稿の提出をフロッピィディスクで求めるように編集委員会規則の改訂をしたいので3月の編集

委員会で検討する。

3．認定「応用心理士」事務局より（岡村）

11月に新しい申請の手引きを配布し，29人から申請があった。保留分の１名をあわせ30名の審査を行い，学歴，業績等が要件を充たさない３名を不合格とし，他の27名を合格とした。

4．心理学諸学会間連絡会報告（稲毛）

1997年12月３日に第３回会議が行われ，以下のことについて報告，協議がなされた。

日本心理臨床学会が退会。「さいころじすと」36号発送のための名簿確認を行う。「さいころじすと」の分担金は従来通りとする37号は動物心理学会が担当し「学会のあり方」を特集する。

5．心理学界協議会について（荻野）

３つの委員会が発足した。荻野は学会の在り方を考える委員会のメンバーとなった。３月に３委員会がそれぞれ検討事項をまとめ協議会の連絡委員会に報告することとなっている。

6．学会史編集委員会より（村井・鈴木）

進行状況の報告と情報等の提供依頼がなされた。

7．その他（荻野）

会員ではないが，古武弥生先生ご逝去の連絡が関西学院大学と兵庫医科歯科大学よりあった。

審議事項：

1．大会補助金の予算，決算上の扱いについて（荻野）

事務局より，次のような提案がなされた。本学会の大会補助費は，決算書の上では当該年度の大会校に渡されたことになっているが，実際は次年度開催校に渡されている。この方法では，大会補助費を増額したとき実行額と決算額との間に金額のずれを生じるので，このねじれを解消したい。そのためには大会補助費は大会の当該年度予算から支出する方式に変えるのが一番よい方法である。しかし，これを実施すると本年度は増額分の10万円のみを本年度大会校に支出すればよいことになり，名目上，本年度大会校は10万円のみ補助されたような形になる。

質疑応答の上，事務局でさらに検討し，次回再提案することとなった。

2．日本心理学会第62回大会準備委員会からの依頼について（荻野）

性格心理学会と合同シンポジウムを行う方向で検討していたが，今回はテーマとシンポジストの調整が困難であるため参加を断念したいという説明があり，了承された。

3．応用心理士の資格要件の件（岡村）

会員２年未満の申請者の扱いであるが，業績，資格がそれ相応にある場合は期間を縮めたい。次の総会で規則として提案したいがそれまで暫定措置として内規としたいという説明があり，了承された。

4．新入会員審査

前回保留分５名のうち４名は学歴等を確認し，事務局で入会を許可したことが報告され，承認された。他の１名はさらに情報収集の上判断することとなった。新規申し込み者３名の入会を承認（そのうちの１名は学部４年である為３月での承認）した。

1998年度第７回（1998年３月）

日　時：1998年３月10日　18：00～20：00

場　所：東京国際大学　国際交流研究所

出席者：田中（昌）・稲毛・内海・大久保・大村・岡村・小野・垣本・越河・高島・高橋・田中（富）・中村・馬場・林・福原・正田
事務局（荻野・岩田・藤瀬）

報告事項

1．1997年度（第64回）大会決算報告（小野）

決算報告（25号に掲載予定）がなされた。

2．1998年度（第65回）大会準備状況について（田中）

学生会員の連名発表費は1,000円とする。

特別講演，シンポジウム等について検討中である。

発表申し込み締め切り　５月末，第２号通信６月中旬，プログラムの発送　７月下旬。

論文集は1999年１月中に発送予定。

3．機関紙編集委員会より（垣本）

24号は８月に発行予定（６編の原稿があり，昨年度のシンポジウムについても掲載）

編集委員会で投稿規程を検討する予定である。さらに内規も整備したい。

4．認定「応用心理士」事務局より（岡村）

本年度申請者33名のうち30名を認定。

認定委員会の任期が５月末までだが，他の委員会の任期（10月）と食い違うため10月までの任期

延長を行いそろえる必要があると考えられる。改めて，規程の改訂として提案たい。

5．学会史編集委員会より（荻野）

予定通り進んでいるという連絡があった。

6．心理学諸学会間連絡会報告（高橋）

本年度最後の連絡会が3月4日に行われ，①ロールシャッハ研究会から入会希望があったこと，②心理臨床学会から退会希望が出されたこと，③「さいころじすと」38号の発行をしばらく見合わせることになったこと，④連絡会の存続を次年度に検討することが話題になった。

7．心理学会協議会について（荻野）

日本心理学会において，3つの部会（「資格」検討委員会，「教育カリキュラム・システム」検討委員会，「学会のあり方」検討委員会）共同でシンポジウムを行う予定。「資格」問題が中心テーマとなる予定である。

8．その他

認定「応用心理士」の研修会を行うための研修委員会を設けたいという事務局長の提案があり，これに対して資格認定規定の変更が前提になるという意見が出され，「応用心理士」認定委員会でさらに検討した上で提案されることとなった。

審議事項

1．大会補助金の予算，決算上の扱いについて（荻野）

前回に引き続き学会予算・決算上の大会補助費の扱いについて審議された。事務局より三つの案が出された。審議の結果，1998年度から，その年度の補助金は当該年度の大会開催校に対して支払うように変更する案が採択された。したがって今年度の大会補助金は，64回大会開催校に対して既に50万円が支払われているので，増額分の10万円のみを支出することになった。

2．心理学諸学会間連絡会担当委員交代について

高橋委員の任期が3月で満了となるので，新委員を選出することとなり，林委員が推薦された。

3．住所不明会員の退会処置について

事務局より，会費未納で住所不明の会員について退会の措置を取りたいとの提案がなされた。審議の結果，3月までに確認できなかったものについて大会処置を取ることとなった。

4．新入会員審査

前回保留分1名と新規希望者5名，について審査し，新規希望者5名の入会が承認され，保留分1名については再度保留となった。

会員異動

新入会員（1997．4月～1998．3月）

（氏名，①現住所，②所属）

峯岸　廣美

②横浜市衛生局

谷澤田鶴子

②オフィス　ラポール

青塚　　徹

②駒沢大学大学院　在学中

篠原　純子

②広島大学医学部保健学科　在学中

山下　春江

②九州大学医学部付属病院

中野アツ子

②都立北多摩看護専門学校

岡本　清美

②東京都立松沢看護専門学校

高田　茂子

②東京都立大塚看護専門学校

尾形　悦子

②横浜市立大学医学部付属病院

藤野　文代

②群馬大学医学部保健学科　助教授

笠井　正則

②三重県立西日野養護学校高等部　実習助手

細田　信一

②前田クリニック

今冨さゆり

②福岡大学筑紫病院
阪口しげ子

②信州大学医療技術短期大学部　助教授
鈴木　芳子

②東京国際大学大学院社会学研究科
応用社会学専攻修士課程　在学中
野田　紀子

②岐阜大学医学部附属病院　看護婦長
内田　達也

②桑名市立大成小学校
澤田　道子

②熊本大学医学部附属病院　看護婦長
申　　紅仙

②立教大学大学院　在学中
笈田　育子

②東京カウンセリング・スクール
竹岡　俊一

②防衛庁情報部
根本　良子

②山形大学医学部看護学科　助教授
金子　潔子

②東京都立板橋看護専門学校　教員
関口　和代

②亜細亜大学大学院　在学中
鈴木　千春

②愛知医科大学附属病院
山崎　章恵

②信州大学医療技術短期大学部
進藤　聡彦

②山梨大学教育学部　助教授
市橋　秀樹

②神戸大学発達科学部人間環境科学科　助教授
根本明日香

②北里大学東病院
馬場　理子

②同志社大学大学院　在学中
新田見教子

②航空医学実験隊
田中　杉恵

②竜谷大学文学部　教授
森　　周

②京田辺市役所児童福祉課課程児童相談室
福川　康之

②国立長寿医療研究センター
橋口　　修

②増尾あんず医院・いらはら整形外科
矢口　一郎

②明治学院大学
川口　　毅

②昭和大学
星山　佳治

②昭和大学医学部　講師
広田恵理華

②㈱リクルートシーズスタッフ
岡林　由香

②神戸大学医学部附属病院　副看護婦長
佐藤　和己

②札幌医療科学専門学校
中川　敏貴

②西野学園札幌医療科学専門学校　教員
植村　妙子

②千葉勤労者医療協会千葉衛生病院
小斉　祐治

②駒沢大学大学院　在学中
植田　　忍

②駒沢大学大学院　在学中
田野洋一郎

②岡山県倉敷児童相談所
小野　敏子

②順天堂医療短期大学　講師
中山　英雄

②西野学園札幌医療科学専門学校　生物科学科教員
寺門　正顕

②日本大学大学院文学研究科心理学専攻　在学中
寺木　秀一

②八王子市教育委員会　指導主事
二上　映子

②富士短期大学
柳沢　淳子

②アフロディテ　ＡＰ心療研究所
橋元　慶男

②名古屋心理センター　臨床心理士
田中美由紀

②早稲田大学大学院文学研究科心理学専攻　在学中
中野　和彦

②近藤産業株式会社販売係長
永田　雅子

②大阪外国語大学　非常勤講師
鈴木　英子

②北里大学大学院　在学中
山下　康隆

②福岡医療福祉学院　学院長
坂本チヒロ

②世界救世教救世学院　教務部次長
藤森　和美

②聖マリアンナ医学研究所カウンセリング部　部長
竹間　　進

②創価大学大学院修士課程教育学研究科　在学中
間島　英俊

②駒沢大学　助教授
下川　建次

②救護施設あかつき　寮母
池田　善英

②立教大学文学部　助手
藤井　閲子

②東京都青少年センター
依田　光正

②職業能力開発大学校福祉工学科　講師
武内　政幸

②大泉文化大学　教授
若山　英央

②国際武道大学　講師
中島　　豺

②国士館大学（武徳研究所）助教授
北山　和郎

②クリエイティブ関西（自治ネット大阪事務局研究員）
笹井　美貴

②呉みどりヶ丘病院　心理士
上田智津穂

②大法山病院　臨床心理士
田山　正美

②中村病院（精神病院）
松浦　博則

②プシュケ　こころの相談室
高田　武代

②水光学院宗像看護専門学校　教員
横小路　貴美

②なし
遠藤　律子

②福岡医療福祉学院心理技術科人間科学科　講師
渡部　桂子

②明和会渡部病院　臨床心理士
八田　智子

②住田病院　心理職
星野　隆助

②明治大学　教授
山口　隆幸

②油山病院　精神科 PSW
香取　伸司

②キッズ・サポート・センター代表
中村　忠生

②兵庫県明石南高等学校　教諭
花房　　香

②岡山県岡山病院　主幹
島田　美鈴

②常磐大学大学院人間科学研究科修士課程　在学中
伊藤　武彦

②和光大学助教授

退会者（前号掲載以降　42）
落合　和夫，佐藤みつ子，中川　雅子，藤野千加子
水田　桂子，岡本　善之，丸山久美子，久保　孝之
久木原博子，久留　一郎，桂島真禧雄，高橋　　郁
高木　幸道，佐藤　方哉，坂崎　　夕，秋山真奈美
小原ゆかり，小木曽加代子，松浦　いね，松山　義則
村松　和子，杉本　佳隆，清水　実重，青柳　　肇
川島　美和，池見　　猛，中釜　洋子，長澤　有恒
定金　浩一，田村美智子，田中　　豊，渡辺　　忠
藤田　忠一，楠　　正三，梅野　邦生，飯塚　幸子
浜　　治世，服部　綾子，野田　　満，薛　　永斌
船津　孝行，竹内　常雄

長期滞納による退会者（30）
原口　知子，飯島　昭子，井上　澄子，加藤象二郎
前原　澄子，松尾　典義，水野　和夫，元山　美貴
小串　　武，小代　禎彦，田中　直子，宇佐美敏夫
山田　芳輝，安村　　博，藤田　利信，深水　一也
畑江　千穂，川島　一夫，小久保　博，近藤　裕彦
松本　純平，名越　秀人，西河　正行，小川　　晃
鈴木　宗夫，高橋　　誠，高取見也子，谷村　冨男
辻田　知子，吉田　　甫

住所不明による退会（20）
柊崎　京子，広井　法子，中村　安子，佐々木真哉

鳥羽　真，内田　芳夫，上垣　博和，橋本　達志
仮屋園昭彦，国師　洋之，是比田真由美，上坂　武
宮本　真弓，諸橋　麻紀，中山　順文，大坪　治彦
李　玉玲，澤田　幸枝，竹林　直美，立元　真

逝　去（5）

藤嶋　良雄，結城　錦一，平沼　良，行田　忠雄
西部　徹一

寄贈文献

・明星大学心理学年報（明星大学心理学研究室）1997 第15号
・上智大学心理学年報（上智大学心理学科）1997 第21号
・人間関係学研究（日本人間関係学会）1997 第4巻 第1号
・山梨大学教育学部研究報告（山梨大学教育学部）第1分冊（人文・社会科学系）1996　第47号
・日本神経回路学会第8回全国大会講演論文集 平成9年11月5日～11月7日（於：金沢工業大学）
・テレコム社会科学学生賞入賞論文集（電気通信普及財団）平成9年5月
・国際交通安全学会誌（国際交通安全学会）1997.3 VOL.22　No.4，1998.2　VOL.23　No.3
・日本総合安育研究所紀要　1996　第33集
・基礎心理学研究（日本基礎心理学会）第15巻 第2号，第16巻　第1号
・社会学研究科紀要（慶応義塾大学大学院）－社会学・心理学・教育学会－　1996　第44号，1997　第45号
・HIROSHIMA FORUM FOR PSYCHOLOGY（広島大学教育学部心理学科）1996 VOL.17 最終号
・国立身体障害者リハビリテーションセンター「研究紀要」平成8年　第17号
・東京学芸大学紀要「総索引」平成7年度　第47集
・筑波大学心理学研究（筑波大学心理学系）1998.3 第20号
・子ども家庭福祉情報（日本子ども家庭総合研究所）平成9年　VOL.13
・児童福祉法の改正をめぐって（日本子ども家庭総合研究所）1996年度　政策科学調査研究推進事業
・早稲田心理学年報（早稲田大学文学部心理学会）1997　VOL.29　No.2，1998　VOL.30　No.2
・名古屋大学教育学部紀要心理学（名古屋大学教育学部）1997　第44巻
・電気通信普及財団研究調査報告書　1998　No.12
・第16期日本学術会議 －会員・委員会委員名簿－（日本学術協力財団）平成8年1月30日
・東京学芸大学紀要 －第1部門教育科学－（東京学芸大学紀要出版委員会）平成10年3月　第49集
・日本語国際センター紀要（国際交通基金・日本語国際センター）1998　第8号
・健康心理学研究（日本健康心理学会）1997 VOL.10 No.1，2
・学術情報センター紀要（学術情報センター）1997 第9号
・心理学専攻紀要（明治学院大学大学院文学研究科）1997　第2号
・交通科学（大阪交通科学研究会）1997　VOL.26 No.1　No.2
・Review（国際交通安全学会誌）1997 VOL.23 No.1 No.2
・科学警察研究所報告（科学警察研究所）1997 38巻 1号，2号　39巻　1号
・産業安全研究所研究報告（労働省産業安全研究所）1996　No.15　1997　RR 96
・産業安全研究所安全資料（労働省産業安全研究所）1997　No.15
・産業安全研究所年報（労働省産業安全研究所）平成8年度
・放送研究と調査（NHK放送文化研究所）1997.5，6，7，8，9，10，11，12　1998.1，2，3
・テレビ・ラジオ番組個人視聴率調査（NHK放送文化研究所）平成9年6月，11月
・I.B.S 研究報告（計量計画研究所）1996年
・心理学ワールド（日本心理学会）1998（創刊準備号）
・人事試験研究（日本人事試験研究センター）1997 No.163, 164, 166
・指導と評価（日本教育評価研究会）1997.6，7，8，9，10，11，12　1998.1，2，3，4
・学術の動向（日本学術協力財団）1996.5,11 1997.2，3，5，6，8，9，10，11，12　1998.1，2，3
・科学警察研究報告（科学警察研究所）1997　38巻 2号（74号）防犯少年編